

歯と口腔の健康づくり事業について (県)



妊産婦期・乳幼児期

テーマ：乳歯むし歯の予防、口腔清掃の習慣づけ

- 妊産婦期から乳幼児期にわたる定期的な歯科健康診断体制の推進
- 母子保健や子育て支援に従事する者の資質の向上
- フッ化物応用等による効果的な歯科口腔保健対策の普及

- 乳幼児の発育段階を踏まえた歯と口腔の健康づくりに関する普及啓発の推進
- 子育て支援に従事する関係機関の連携づくりの推進

事業名	担当課	事業内容	平成26年度事業実績	平成27年度事業計画
妊産婦に対する普及啓発事業	健康推進課	妊産婦の歯科口腔保健対策の必要性、乳幼児からのむし歯対策の必要性と予防方法、乳歯のフッ化物塗布の有効性等について、市町村の協力を得て、母子保健手帳交付時に配付する。	国庫補助減額により中止	
妊娠期における歯科保健対策事業	健康推進課	市町村が実施するマタニティ教室や集団での母子健康手帳交付、一般社団法人宮城県助産師会が主催する「じょさんしふエスタ」等の場を活用し、歯科医師及び歯科衛生士による妊婦への講話、歯科健診、歯科保健指導を実施する。		実施（新規）
乳幼児むし歯予防総合教室	健康推進課	子育て世代の親睦の機会・場所を設け、その中で乳幼児の歯と口腔の健康管理に関する相談や情報提供、クアの実演等を実施する。	・2町（蔵王町、大郷町）52名 【宮城県歯科衛生士会へ委託】	実施
フッ化物洗口導入モデル事業	健康推進課	市町村が実行可能なフッ化物を利用した幼児歯科保健対策の事業モデルを提供するもの。 マニュアル・チラシの整備、市町村職員等の研修、施設職員の研修等に係る技術的支援、保護者説明会に係る技術的支援、経費の補助、その他必要な助言指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業実施市町村 3市1町（白石市、名取市、大崎市、七ヶ宿町） ・施設職員研修会 2市1町（名取市、岩沼市、村田町）120名 ・保護者説明会 3市1町（白石市、名取市、大崎市、七ヶ宿町）462名 ・その他 (1) 名取市嘱託医連絡会 14名 (2) 女川町乳幼児歯科保健対策研修会 15名 (3) 大崎市フッ化物洗口導入モデル事業報告会 約50名 (4) 市町村歯科保健担当者会議 47名 	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設管理者等対象としたフッ化物洗口普及啓発研修（3回） ◆モデル事業導入2市2町の取組（各説明会、導入経費）の支援 ◆フッ化物洗口未実施市町村への啓発等 ・フッ化物洗口の普及啓発に向けた活動（打合せ、説明会等）の実施 ・歯科保健事業に関する意向調査等を通じた動向把握

事業名	担当課	事業内容	平成26年度事業実績	平成27年度事業計画
幼児歯科保健関係者研修会	健康推進課	<p>母子保健・子育て支援に従事する首（保育士、幼稚園教諭、保育所、幼稚園の施設長、市町村歯科保健担当者及び母子保健担当者、保健所歯科保健担当者等）の歯と口腔の健康づくりに関する知識や技術の向上を図り、幼児の予防や健全な歯列・咬合を保つため、効果的な保健指導の実施方法等に関する研修会の実施、各施設や市町村の取組状況等に関する情報交換、県内外の先進的な取組事例の紹介による情報の共有を図る。</p>	実施(新規)	
みやぎ県政だよりでの広報事業	健康推進課	<p>みやぎ県政だより平成27年1月・2月号において、「あなたのお口の中は健康ですか?」の特集記事を掲載。県民向けに、お口の中の健康を保つポイントの普及啓発を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むし歯予防のポイント ・フッ化物歯用剤によるむし歯予防の効果 ・歯間清掃用器具の利用 ・定期的な歯科健診のすすめ ・在宅歯科医療連携室整備事業のPR等 	全戸配付	
歯つらつファミリーコンクール	健康推進課	コンクールにおける表彰 【宮城県歯科医師会と共催】	<ul style="list-style-type: none"> ・知事表彰 親と子の部3組、ファミリーの部2組 	実施
幼児に関する歯科保健行動調査	健康推進課	幼児の歯と口腔の健康状況を把握するため、県内各市町村の協力を得て、3歳児健康診査時に目視式質問紙調査を実施する。		実施(平成24年度に引き続き実施)

テーマ：永久歯むし歯と歯肉炎の予防

○生涯にわたり美観に生かせる歯科口腔保健教育、歯科口腔保健活動の推進

○歯科口腔保健活動のための学校及び地域の連携の推進

事業名	担当課	事業内容	平成26年度事業実績	平成27年度事業計画
小・中学生体験歯みがき教室	健康推進課	県内の小・中学校の児童、生徒を対象としてブラッシング指導をはじめ、口腔内カメラ、顕微鏡、ビデオ上映等を活用した健康教育を実施する。	・4回 1555名 【宮城県歯科医師会へ委託】	実施
教育教材作成事業	健康推進課	教員・養護教諭等が学校現場で児童生徒等に歯と口腔に関する正しい知識を教示するための教育ツール（パワーポイントのスライド）を収録したCD-ROMとスライド内容を説明した解説書）の作成と配付。	・教育ツールの検討及び作成作業に対する教育教材作成委員会の開催 5回 ・教材名：みやぎっ子の楽しく学ぶ『生きる力』をはじめくぐくむ歯・口の健康づくり教育教材 ・内容： 1 歯と口の発育と機能の発達 2 むし歯の原因とその予防 3 歯周病の予防とその原因 4 歯・口の清掃と指導のポイント 5 まとめ ・部数：500部 特別支援学校を含む県内小学校等へ配付 【宮城県歯科医師会へ委託】	実施
みやぎ県政だよりでの広報事業（再掲）	健康推進課	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	
児童生徒定期健康診断事業	スポーツ健康課	県立学校において、法令に基づき定期健康診断を実施し、学校生活が円滑に行われるよう適切な保健管理、保健指導を図る。	・定期健康診断の実施 ・適切な保健管理、保健指導 ・県学校保健会の協力による健康実態調査の経年分析	・定期健康診断の実施 ・適切な保健管理、保健指導 ・健康実態調査の経年分析書の発行 →各学校及び地域の学校保健の推進の施策に生かす
学校保健研修事業	スポーツ健康課	学校における歯科保健指導の推進や教職員の資質向上を図ることを目的とした研修	・教職員対象の研修会を実施 ・2回 207名	・食育関係の研修会にて実施予定 ・学校保健研修会にて実施予定
学校・地域保健連携推進事業	スポーツ健康課	○学校保健課題解決 県内7教育事務所と県の8ブロックで各地域の健康課題について協議し、課題解決のための研修会等を実施する。 ○専門家派遣 各学校の希望に応じ専門家を派遣し、学校保健の推進を図る。	○学校保健課題解決 県協議会2回、県研修会1回 各ブロック連絡協議会2回、各ブロック研修会1回 ○専門家派遣 派遣件数59件	左記事業内容を継続。ただし、専門家派遣については、58件の実施となる。
生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業	スポーツ健康課	推進指定校において、学校・家庭・地域社会が連携して、子どもの生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくりに取り組み。 【平成26年度までの2ヶ年事業】	・推進指定校による2年間の実施について、公開研究会を実施	・新たに推進指定校を決めて、取り組む。
宮城県児童生徒の健康実態調査（隔年実施）	スポーツ健康課	児童生徒の健全な育成と学校保健教育の推進を図るため、児童生徒の歯と口腔の現状把握を行い、調査結果について分析評価するもの。		児童生徒の健康に関するアンケート調査の中で、歯みがきの個別指導やフッ化物配合歯みがき剤の使用割合について調査するもの。

青年期・壮年期

テーマ：歯周疾患の予防と口腔清掃の徹底（青年期）、歯周疾患対策と歯の喪失予防の推進（壮年期）

- 成人を対象とした歯科健康診査の機会確保とその推進
- 地域保健と職域保健との連携による支援体制づくり
- かかりつけ歯科医をもつことの推進
- 歯周疾患予防に効果的な方法的普及啓発の推進
- 成人の歯と口腔の実態把握及び歯と口腔の健康が維持できる体制の構築

事業名	担当課	事業内容	平成26年度事業実績	平成27年度事業計画
健康手帳の交付	健康推進課	市町村が作成する健康手帳に要する費用の一部に対し補助する。 (仙台市除く)	・11市町村	実施（健康増進事業）
歯周疾患検診等の実施	健康推進課	市町村が実施する歯周疾患検診の費用の一部に対し補助する。 (仙台市除く)	・26市町	実施（健康増進事業）
歯の健康相談、健康教育の実施	健康推進課	市町村が実施する健康相談・健康教育の費用の一部に対し補助する。 (仙台市除く)	・34市町村	実施（健康増進事業）
職域に対する普及啓発事業	健康推進課	関係機関と協力し、研修等の機会を捉えて、歯科保健対策の必要性等の普及啓発を行い、職場における歯科保健健診の実施率向上を図る。	チラシの配布（労働安全衛生関係団体や被用者保健を運営する団体が企画運営する研修会等）	実施
歯科保健行動自己評価チェックリスト作成事業	健康推進課	歯科保健計画に基づき事業に取り組みられている事業者（事業所）が自らの活動を進める上で使用可能なチェックリストを作成する。	チェックリスト3,000枚作成 【東北大学大学院歯学研究所へ委託】	
みやぎ県政だよりでの広報事業（再掲）	健康推進課	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	
被災者特別健診事業	健康推進課	震災後の生活環境等の変化による健康状態の悪化を早期発見・予防することを目的とし、沿岸15市町村の特定健診・保健指導の対象となっていない18歳以上39歳以下の住民に対し、基本健診・詳細健診・歯周疾患検診・保健指導を実施する市町村に対し必要な経費を補助する。 歯周疾患検診は平成27年度から補助対象とする。		実施（一部新規） 補助予定：8市町村（3,569人）
職場における歯と口腔の健康づくりに関する取組状況調査	健康推進課	職場における歯科保健対策の実施状況について調査を行い、現状を把握する。		実施（平成25年度に引き続き実施）
介護予防に関する事業評価・市町村支援事業	長寿社会政策課	口腔ケアの普及啓発として歯科診療所等にハンフレットを配布する。	ハンフレット12,500枚作成・配布	実施

テーマ：口腔機能の維持・回復、口腔衛生の維持

- 全市町村での歯周疾患検診の実施，受診率の向上
- 施設入所者や通所事業所利用者等の歯と口腔の健康管理の充実

- 介護や介護予防に従事する者への支援体制の構築
- 成人の歯と口腔の実態把握

事業名	担当課	事業内容	平成26年度事業実績	平成27年度事業計画
要介護者の口腔ケア支援者研修事業	健康推進課	ヘルパーや施設職員等を対象に，要介護者の口腔ケアの必要性と方法等に関する研修会を実施する。	・3回（仙台会場2回，塩釜1回） 227名 【宮城県歯科医師会へ委託】	実施
老人福祉施設及び障がい児（者）施設における歯と口腔の健康づくりに関する取組状況調査	健康推進課	県内老人福祉施設及び障がい児（者）施設の入所者の歯と口腔の健康づくりに関する取組状況を把握する。		実施（平成24年度に引き続き実施）
みやぎ県取組だよりでの広報事業（再掲）	健康推進課	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	
在宅歯科医療連携室整備事業	健康推進課	住民や在宅歯科医療を受ける者・家族等のニーズに応え，在宅歯科における医科や介護等の他の分野とも連携を図るための相談窓口を設置し，病氣や障がい等により在宅で療養している通院が困難な方や介護を受けている方の歯と口腔に関する相談に対処し，地域における在宅歯科医療の推進及び連携体制の構築を図る。	・相談件数 71件（電話相談） うち紹介件数 39件 ・登録医 127機関 ・研修会 25名 【宮城県歯科医師会へ委託】	実施
院内口腔管理体制整備事業	医療整備課	各医療圏で中核的な役割を担う地域医療支援病院，がん診療拠点病院において口腔管理を行う歯科衛生士の配置を支援し，術後における全身の早期回復の促進，がん治療の副作用・合併症の予防や軽減，在院日数の短縮を図る。	・対象医療機関 4	実施

障がい児(者)

○障がい児(者)の歯と口腔の健康づくりのための地域支援機能の充実・連携の促進
 ○施設入所者の歯科医療機関による歯と口腔の健康管理の充実

事業名	担当課	事業内容	平成26年度事業実績	平成27年度事業計画
障がい児(者)の口腔ケア研修事業	健康推進課	ヘルパーや施設職員等を対象に、障がい児(者)の口腔ケアの必要性と方法等に関する研修会を実施する。	・2回(仙台会場)99名 【宮城県歯科医師会へ委託】	実施
障がい児(者)施設歯科健診・口腔ケア指導モデル事業	健康推進課	障がい児(者)における歯と口腔の健康状態の改善及び日常の口腔ケアの定着を図るため、障がい児(者)の歯科健診等を通じた含糖把握や施設職員への指導・助言を行うとともに、主な障がいの特徴や必要とされる対応を踏まえた歯科口腔保健指導や口腔ケアの実践方法に関するマニュアルを作成する。 ※平成26～28年度までのモデル事業	・大崎圏域内の障がい児(者)を対象とした通所の5施設において、歯科健康診査等、歯科健康診査後の歯科保健指導(フォローアップ)の実施 ・歯科健康診査等の従事者等による事前研修会(座学・現地研修)2回 ・歯科健康診査等の従事者等による事業後検討会2回 【宮城県歯科医師会へ委託】	実施
障がい児親子歯みがき教室	健康推進課	障がい児の歯と口腔の健康状態の改善や、保護者や介助者等に対して日常の口腔ケアや歯科保健指導の推進・定着を図る。		実施(新規)
老人福祉施設及び障がい児(者)施設における歯と口腔の健康づくりに関する取組状況調査(再掲)	健康推進課	【再掲のため記載省略】		実施(平成24年度に引き続き実施)
在宅歯科医療連携推進整備事業(再掲)	健康推進課	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施
みやぎ県政だよりでの広報事業(再掲)	健康推進課	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	
介護予防に関する事業評価・市町村支援事業(再掲)	長寿社会政策課	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施

食育

○食育の視点を採り入れた歯と口腔の健康づくりの推進

事業名	担当課	事業内容	平成26年度事業実績	平成27年度事業計画
みやぎ食育フォーラム	健康推進課	11月の「みやぎ食育推進月間」に開催するフォーラムの中で、食育と歯科保健の関連性や連携した取り組み等についての講演を実施する。	実施	



フッ化物洗口による歯科保健行動に関する調査について

1 調査目的

フッ化物洗口導入モデル事業を評価するため、本事業を活用してフッ化物洗口を実施した子ども及びその保護者の歯科保健行動の変化を把握し、分析を行うもの。

2 実施主体

宮城県保健福祉部健康推進課

3 協力機関

白石市, 名取市, 大崎市, セケ宿町

4 調査期間

平成27年1月13日から平成27年4月10日まで。

5 調査対象者

平成26年度にフッ化物洗口導入モデル事業を新たに実施した施設に在籍し、フッ化物洗口を実施している4, 5歳児の保護者300人
(白石市1施設62人, 名取市4施設79人, 大崎市3施設144人, セケ宿町1施設15人)

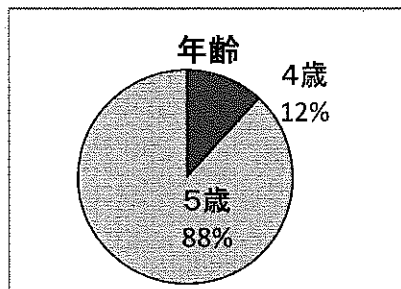
6 調査方法

実施施設において調査対象者に対して自記式調査票を配付して実施した。

7 調査結果(n=246)

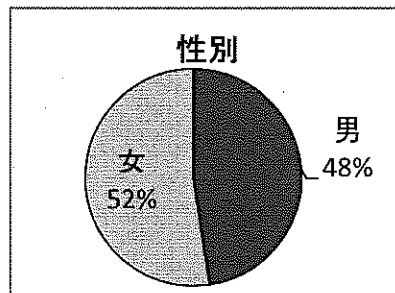
(1) 年齢

	4歳	5歳
人数	29	217



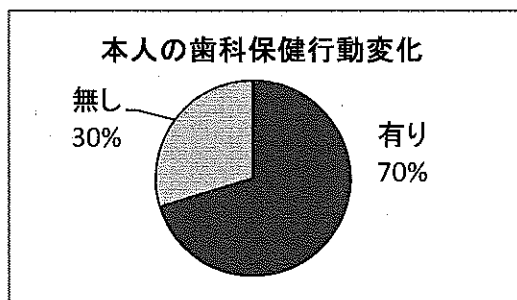
(2) 性別

	男	女
人数	117	129



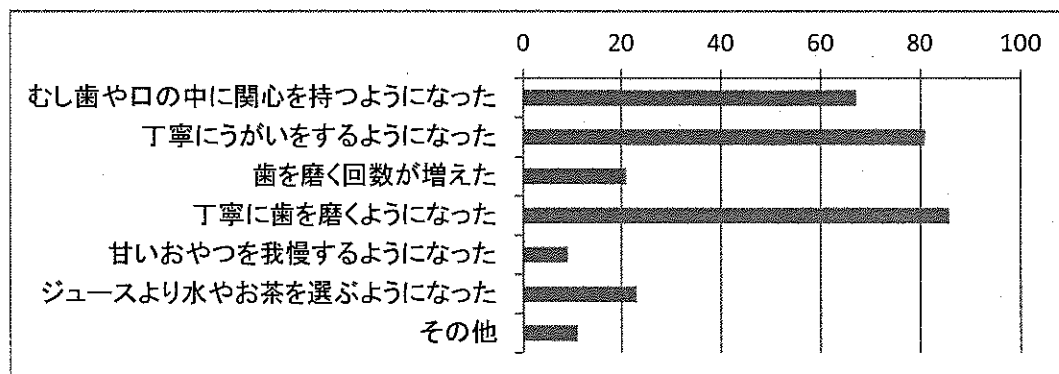
(3) 本人のフッ化物洗口による歯科保健行動の変化

	有り	無し
人数	173	73



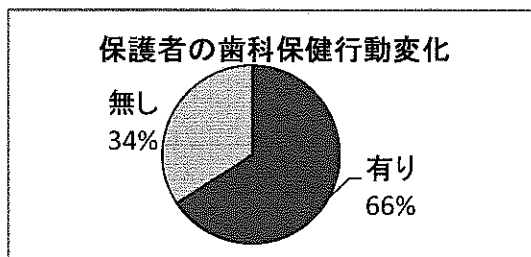
変化の内容(複数回答)

	むし歯や口の中に関心を持つようになった	丁寧にうがいをするようになった	歯を磨く回数が増えた	丁寧に歯を磨くようになった	甘いおやつを我慢するようになった	ジュースより水やお茶を選ぶようになった	その他
人数	67	81	21	86	9	23	11



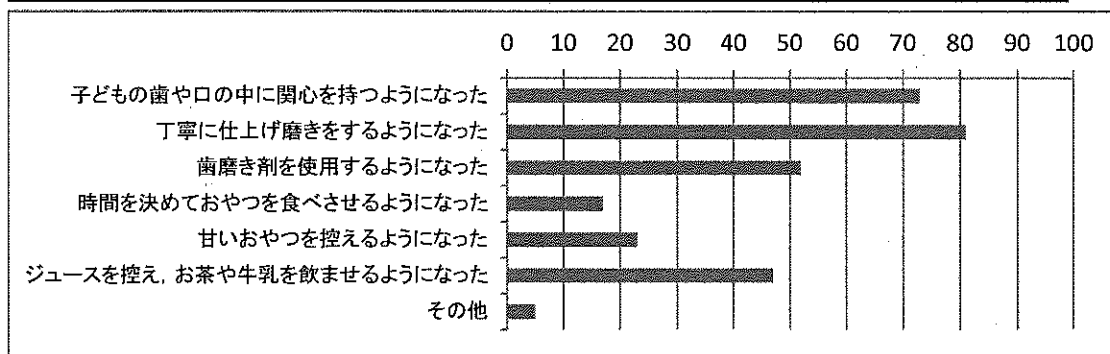
(4) 保護者のフッ化物洗口による歯科保健行動の変化

	有り	無し
人数	162	84



変化の内容(複数回答)

	子どもの歯や口の中に関心を持つようになった	丁寧に仕上げ磨きをするようになった	歯磨き剤を使用するようになった	時間を決めておやつを食べさせるようになった	甘いおやつを控えるようになった	ジュースを控え、お茶や牛乳を飲ませるようになった	その他
人数	73	81	52	17	23	47	5



(5) フッ化物洗口開始前後における具体的歯科保健行動

5-1-1 フッ化物洗口開始前の1日の歯磨き回数

	3回以上	2回	1回	0回
人数	82	115	47	1

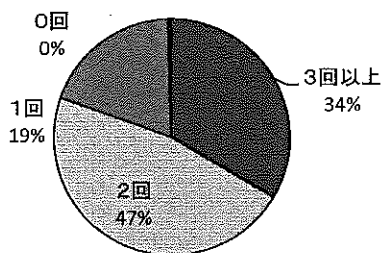
5-1-2 フッ化物洗口開始後の1日の歯磨き回数

	3回以上	2回	1回	0回
人数	103	106	36	0

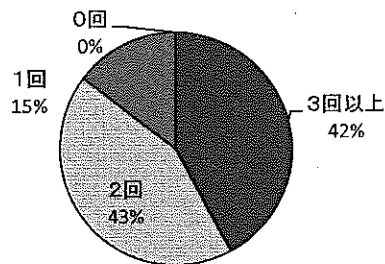
5-1-3 フッ化物洗口開始後の1日の歯磨き回数の変化

	もともと良い	改善した	変化なし	悪化した
人数	82	33	130	0

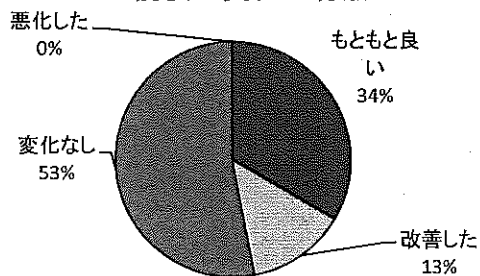
洗口開始前の歯磨き回数



洗口開始後の歯磨き回数



前後の変化の有無



5-2-1 フッ化物洗口開始前の仕上げ磨き回数

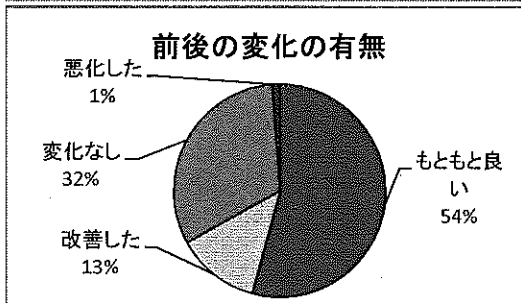
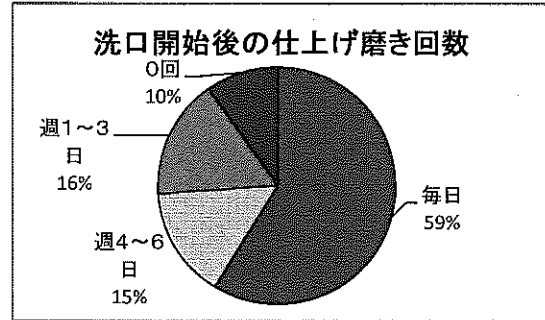
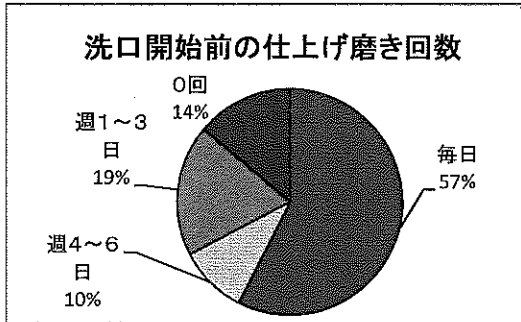
	毎日	週4~6日	週1~3日	0回
人数	141	24	46	34

5-2-2 フッ化物洗口開始後の仕上げ磨き回数

	毎日	週4~6日	週1~3日	0回
人数	144	37	40	24

5-2-3 フッ化物洗口開始後の仕上げ磨き回数の変化

	もともと良い	改善した	変化なし	悪化した
人数	133	31	78	3



5-3-1 フッ化物洗口開始前の家庭でのおやつ(甘味食品・飲料)の回数

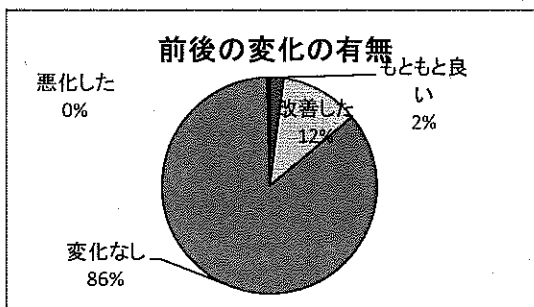
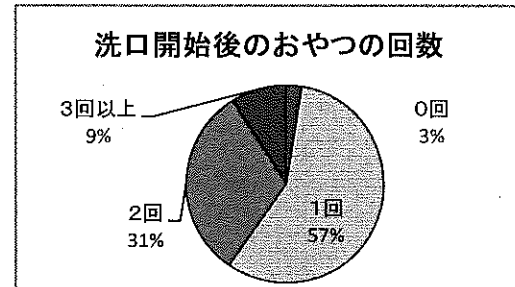
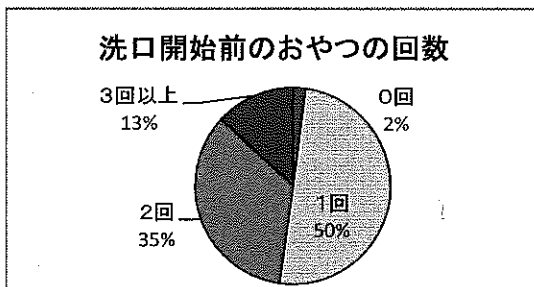
	0回	1回	2回	3回以上
人数	5	122	84	32

5-3-2 フッ化物洗口開始後の家庭でのおやつ(甘味食品・飲料)の回数

	0回	1回	2回	3回以上
人数	6	139	76	22

5-3-3 フッ化物洗口開始後の家庭でのおやつ(甘味食品・飲料)の回数の変化

	もともと良い	改善した	変化なし	悪化した
人数	5	29	208	1



5-4-1 フッ化物洗口開始前の歯磨き剤の使用有無

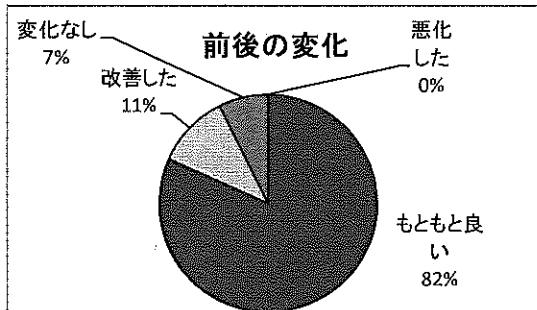
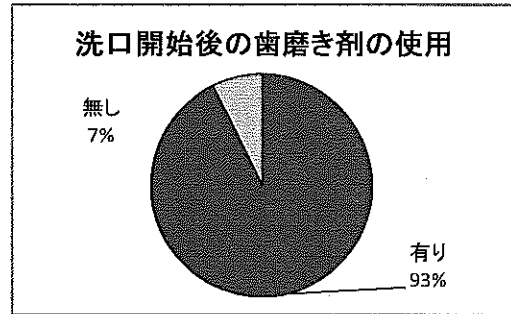
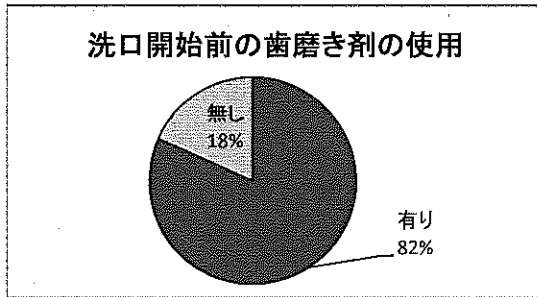
	有り	無し
人数	201	45

5-4-2 フッ化物洗口開始後の歯磨き剤の使用有無

	有り	無し
人数	228	18

5-4-3 フッ化物洗口開始後の歯磨き剤の使用有無の変化

	もともと良い	改善した	変化なし	悪化した
人数	201	27	18	0

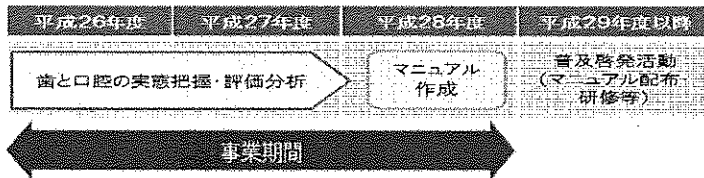


障がい児（者）施設歯科健診・口腔ケア指導モデル事業について

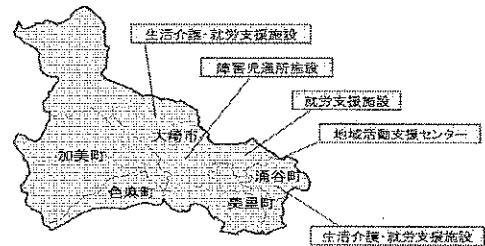
■事業目的

障がい児（者）施設において、歯科健診等を実施して実態を把握するとともに主な障がいの特徴や必要とされる対応を踏まえた歯科口腔保健指導の実践に関するマニュアルを作成し、浸透させることを目的に実施するもの。

■事業期間



■平成26年度事業実施施設



■平成26年度の実施状況【(一社)宮城県歯科医師会に委託】

1 障がい児（者）施設における歯と口腔の実態把握

対象：大崎圏域障害福祉サービス事業所（通所系）37施設

内容：施設における口腔ケアの状況及び健診の意向について調査

2 モデル事業に従事する歯科医師等を対象とした研修会

①第1回障がい児（者）施設歯科健診・口腔ケア指導モデル事業研修会（H26.10.8）

内容等：「障害の種類及び特性について」「対応時の留意点」等

出席者：大崎歯科医師会 歯科医師，歯科衛生士等30名出席

②第2回障がい児（者）施設歯科健診・口腔ケア指導モデル事業研修会（H26.11.20）

内容：石巻市内障害福祉サービス事業所における健診の実際を見学

出席者：大崎歯科医師会 歯科医師，歯科衛生士等8名

3 事業検討会の実施

① 事前検討会（H26.10.8）

・歯科健診項目，健診票，必要物品，事業実施体制等について検討 8名出席

② 事後検討会（H27.3.26）

・事業実施結果の分析・評価，次年度に向けた課題等について検討 13名出席

4 歯科健診及び保健指導の実施

対象：大崎圏域 障害福祉サービス事業所 5施設

期間：平成26年12月～平成27年2月

内容：歯科健診及び歯科保健指導を各施設2回実施

受診者：105名

結果：裏面のとおり

■平成27年度実施計画

大崎圏域における事業の継続

平成26年度歯科健康診査結果について

1 対象施設数

大崎地域 障害福祉サービス事業所(通所の障がい児(者)施設) 5施設

2 歯科健康診査結果

(1) 健診人数

対象施設	受診者数	内訳		平均年齢
		男性	女性	
就労支援施設	19	10	9	27.2
地域活動支援センター	8	4	4	55.5
生活介護・就労支援施設A	21	14	7	35.3
生活介護・就労支援施設B	35	23	12	40.7
障害児通所施設	22	15	7	4.1
合計	105	66	39	

(2) 所見ありの状況

対象施設	みがき残し		歯石沈着		歯肉の炎症	
	有所見者数	割合(%)	有所見者数	割合(%)	有所見者数	割合(%)
就労支援施設	4	21.1	15	78.9	16	84.2
地域活動支援センター	1	12.5	4	50.0	5	62.5
生活介護・就労支援施設A	8	38.1	9	42.9	8	38.1
生活介護・就労支援施設B	16	45.7	22	62.9	14	40.0
障害児通所施設	18	81.8	0	-	1	4.5
合計	47	44.8	50	47.6	44	41.9

3 利用者の感想(アンケート結果から)

- ・ 健診を受けてよかった。普段歯医者に行かないので健診してもらってよかった。
- ・ 正しい歯磨きの仕方を学ぶことができた。
- ・ 正しい歯磨きができるようになって、気持ちがよい。
- ・ 歯磨きがうまくできているといわれ、自信がついた。
- ・ 入れ歯の磨き方を初めて知った。
- ・ 自分に合う歯ブラシを知ることができてよかった。
- ・ 健診をきっかけに治療してもらっている。
- ・ 結果表に口腔内が図で記載されているので、どこに虫歯があるかわかった。

4 事業実施後の変化(アンケート結果から)

(1) 利用者の変化

- ・ 健診をきっかけに通院治療を開始した。通院を予定している。
- ・ 正しい歯磨きを実施できる利用者が増えた。
- ・ 義歯を専用ブラシで磨くことを知り、職員の付添により義歯を洗うようになった。
- ・ 食後の歯磨きを行う利用者が増えた。昼食後の歯磨きも一人一人しっかり行うようになった。
- ・ 健診を見ていた利用者から、次の機会があれば自分も見てほしいと要望があった。
- ・ 歯ブラシを持ちかえり、家庭でも歯磨きの機会が増えた。
- ・ 資料を保護者に配布したことで、ともに理解し治療を希望する利用者が増えた。
- ・ 「入れ歯につまるから」とおやつを食べなかった利用者が、健診をきっかけに治療しおやつを食べるようになった。
- ・ 2回目の健診の結果、改善している方が多いた。

(2) 施設での対応、職員の意識の変化

- ・ 健診後、洗面所に紙コップを設置した。
- ・ 健診結果と指導内容を施設職員で共有するようになった。
- ・ 27年度の事業内容に、毎月歯磨きの強化週間を計画した。
- ・ 今後歯科健診や治療に対する声掛けを多くしていきたい。
- ・ 歯の大切さが理解できるように支援していきたい。

(3) 施設職員の感想・意見等

- ・ 何年も通院歴のない利用者について、現在の歯の状況がわかりよかった。
- ・ 知的障害の利用者に歯の状態がよいケースが多くみられ、家庭での意識の高さを感じた。一方で身体障害の方に拒否された方が多く、見られたくないという意識を強く持っているように思った。
- ・ 障害を持つ利用者には、口腔ケアの大切さをわかりやすく話してほしい。
- ・ ブラッシング指導の対象が誰なのか、位置づけが見えにくかった。
- ・ 事業内容や実施方法が共有されておらず、事業の進め方がスムーズではなかった。
- ・ 来年も健診してほしい。